

第 4 章

育児休業制度の利用状況

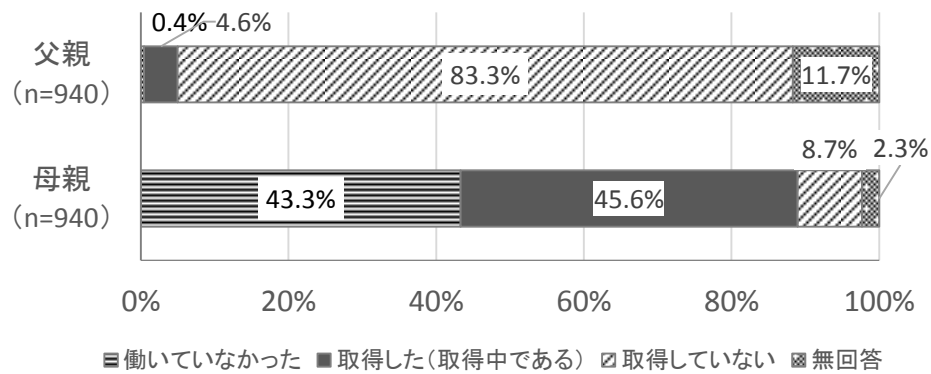
第4章 育児休業制度の利用状況

1 育児休業制度の利用状況（就学前児童のみ）

育児休業制度の利用状況は、母親は「取得した（取得中である）」（45.6%）が最も多いのに対して、父親は「取得した（取得中である）」（4.6%）となっています。

【就学前児童保護者 問28】

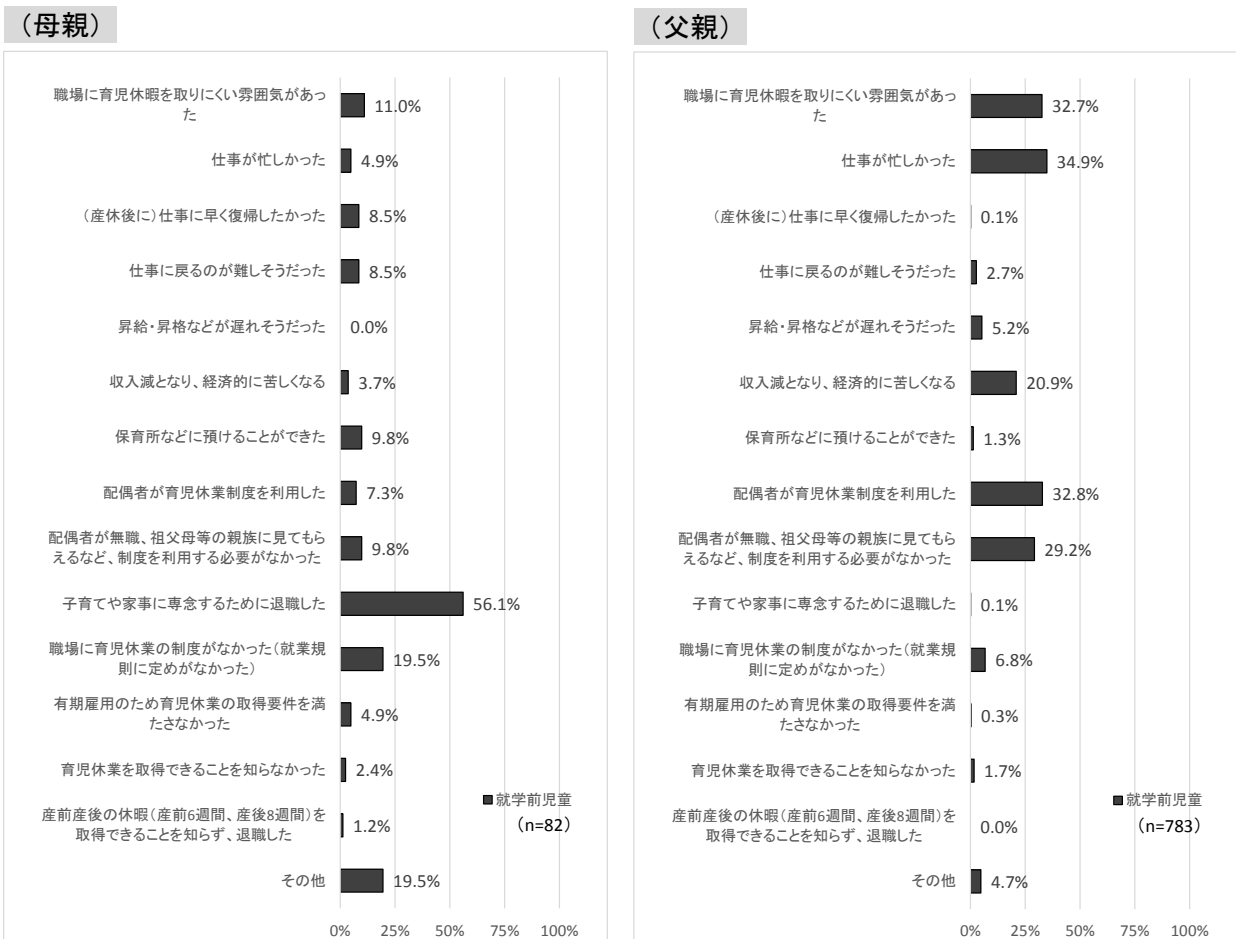
宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休暇を取得しましたか。



育児休業制度を取得しなかった理由は、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」(56.1%)が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規定に定めがなかった)」・「その他」(19.5%)、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」(11.0%)となっています。

父親では、「仕事が忙しかった」(34.9%)が最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」(32.8%)、「職場に育児休暇を取りにくい雰囲気があった」(32.7%)、「配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(29.2%)となっています。

【就学前児童保護者 問28(理由)】
 問28で「取得していない」を回答した方に伺います。
 取得していない理由をお答えください。



育児休業取得後は、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」(70.2%)が最も多く、次いで「現在も育児休業中である」(21.2%)、「育児休業後に離職した」(7.5%)となっています。父親は「育児休業後、職場に復帰した」(95.3%)が大きな割合を占めています。

【就学前児童保護者 問28-1】
 問28で「取得した(取得中である)」を回答した方に伺います。
 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

